

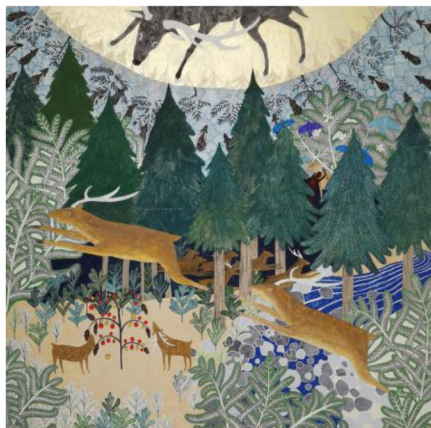


1

N.E.blood 21

vol.75 FURUTA KAZUKO EXHIBITION

2021 2.6 sat ▶ 3.14 sun



2

「N.E.blood 21」は精力的に制作、発表活動を行う東北・北海道在住若手作家を紹介するシリーズ企画です。美術館とアーティストとの新しい関係を模索しつつ、作家同士のネットワーク形成を念頭に置き複数の作家の個展を開催しています。第75回目となる本展では山形県山形市在住の作家 古田和子（ふるたかずこ）を紹介します。

古田は1985年東京都生まれ。2015年に東北芸術工科大学大学院芸術工学研究科芸術文化専攻日本画領域修士課程を修了。山形を拠点に日本画作品を制作、数多くの個展・グループ展等にて作品を発表し、高い評価を得ています。

古田の作品を目にする者は個性豊かに躍動する動物や鳥たちと出会います。しなやかな彼らの肢体は表情豊かで魅力的です。

様式化された日本画技法で表現される古田の世界観は、太古の時代からつながれてきた生命の歴史、物語などを描き伝える絵巻物を連想させます。また大きな絵の一部を切り取ったような構図は、画面外側への広がりを意識させ、自然界や人間界とそれを取り巻く宇宙など、人知を超えた深遠な世界へと見る者を誘います。



3



4



5

- 1「青の時間」
2017年／各H794×W1620mm（2枚1組）／寒冷紗、岩絵具
- 2「「ぼくらの居場所は海の向こうか森の中、はたまたどこか彼方」 2016年／H2300×W2300mm／和紙、岩絵具、インク
- 3「手と渡り鳥の記憶」
2018年／H5000×W2000mm／和紙、岩絵具
- 4「ダイブ！」
2018年／H350×W502×D502mm／和紙、岩絵具、インク、木材
- 5「ダイブ！」（部分）
- 6「オオカミは死んだ、わたしたちは生きている。」
2015年／H1820×W3640mm／パネル、岩絵具、箔

古田和子 <Furuta Kazuko>

- 1985 東京都生まれ
2015 東北芸術工科大学大学院芸術工学研究科芸術文化専攻日本画領域修士課程修了
2016 山形ビエンナーレ | 東北画は可能か？—地方之国現代美術展— 東北芸術工科大学（山形）
2018 「第5回世田谷区芸術アワード“飛翔”受賞記念発表 古田和子展」世田谷美術館（東京）
2019 「TAMA VIVANT II 2019／ART・漂う場所として」多摩美術大学八王子キャンパス アートテークギャラリー（東京）

その他、グループ展等 多数



6



リアス・アーク美術館ご利用案内

常設展—①美術作品展 ②歴史民俗資料展—舟舟日記—海と山を生きるリアスな暮らし— ③東日本大震災の記録と津波の災害展
常設展観覧料—一般：500(400)円／大学・専門学生：400(300)円／高校生：300(200)円／小・中学生：150(100)円 ※()内は20名以上の団体料金
ワークショップ＝土・日を中心に開場するアトリエ／レストラン「キッチンスペース夢の舎」＝地元食材中心の創作料理をご提供

アクセス＝【JR】東北新幹線[一ノ関駅]～大船渡線[気仙沼駅]下車、東北新幹線[仙台駅]～気仙沼線[気仙沼駅]下車 *気仙沼線[柳津駅]～[気仙沼駅]間、大船渡線は[盛]～[気仙沼]間はBRTにて運行中 *気仙沼駅からタクシー（約20分）をご利用ください。「タクシー割引券」と「当館常設展観覧券引換券」のセットクーポン券が気仙沼駅前観光案内所、気仙沼観光コンベンション協会（Tel：0226-22-4560）で販売中。【車】東北自動車道[一関IC]から国道284号線経由約50km：70分／三陸自動車道[気仙沼中央IC]から国道45号線経由約15分／仙台市から約120km：150分／石巻市から約70km：80分／岩手県陸前高田市から約25km：35分 *無料駐車場あり（37台・大型5台）【バス】高速バス[仙台⇄気仙沼]高速道路（2ルート）経由（約160分）、特急バス[一関⇄気仙沼]（約75分） *バス・BRTに関する詳細は関係機関へお問い合わせください。

同時開催

N.E.blood 21
vol.74 SUGAWARA AKIKO EXHIBITION
菅原綾希子展

【秋田県在住／彫刻】